福島第一原子力発電所現地確認報告書

１　確認日

令和８年１０月５日（月）

２　確認箇所

Ｋ４タンクエリア、多核種移送設備建屋（図１）

３　確認項目

多核種除去設備等処理水の海洋放出の状況（第２４回）

４　確認結果の概要

本年度６回目（累計２４回目）となる多核種除去設備等処理水（以下「ＡＬＰＳ処理水」という。）の海洋放出が本日（１０月５日）から開始されたため、ＡＬＰＳ処理水の放出に係る操作及び放出の状況を確認した。（前回確認日：令和８年８月３１日（第２３回放出））

○２０２６年度第６回ＡＬＰＳ処理水海洋放出の概要

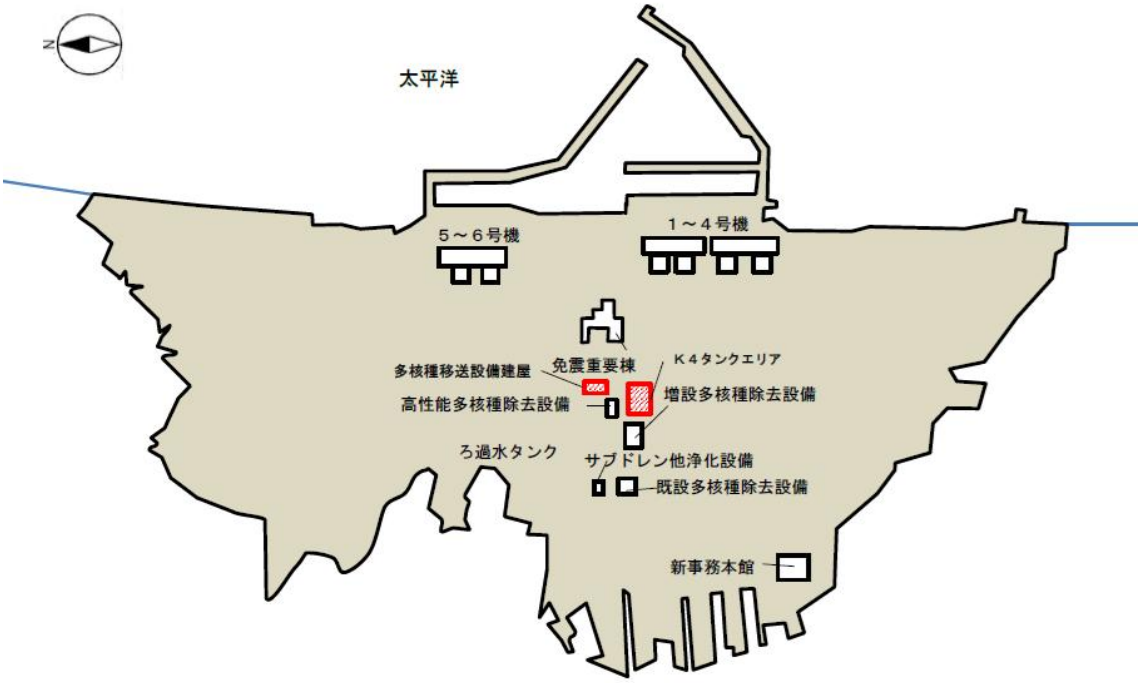
放 出 対 象：ＡＬＰＳ処理水（測定・確認用サンプルタンクＡ群）
予定放出量：約７，８００ｍ^3
予 定 期 間：令和８年１０月５日（月）～同年１０月２３日（金）

・東京電力社員が手順書に従い、呼称・指差し確認をしながら弁操作が行われた。（写真１）

・弁操作後は、誤操作を防止するため、鎖と南京錠による施錠が行われた。（写真２）

・全ての弁操作の完了後、ＡＬＰＳ処理水移送ポンプ（Ｂ）が起動され、ＡＬＰＳ処理水の海洋放出が開始された。（写真３）

・ＡＬＰＳ処理水放出開始後、東京電力社員による漏えい確認が行われ、漏えい等の異常は確認されなかった。また、県でも海側の放出関係設備の運用状況を確認したが、目視で確認した範囲で異常は確認されなかった。



（図１）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真１）
指差呼称による弁の開閉確認の状況



（写真２）
弁操作後の施錠状況



（写真３）
ＡＬＰＳ処理水移送ポンプ（Ｂ系）
の動作確認状況

５　プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。